

令和5年度  
発生予察情報

## 発生予報第 16 号 (概要版)

令和6年3月 11 日発行  
宮城県病害虫防除所  
(TEL:022-275-8982)

作物名	病害虫名	発生予報	備考
りんご	リンゴハダニ	発生量: やや多	
	ナミハダニ	発生量: やや多	

作物名	病害虫名	発生予報	備考
なし	リンゴハダニ	発生量: 平年並	
	ナミハダニ	発生量: やや多	

作物名	病害虫名	発生予報	備考
いちご	うどんこ病	発生量: 平年並	
	ハダニ類	発生量: 平年並	
	コナジラミ類	発生量: やや少	
	アザミウマ類	発生量: 多	

より詳しい内容は、下記ホームページでご確認ください。

宮城県病害虫防除所 <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/byogai/>

次回、令和6年度発生予報第1号の発行日は4月19日(金)の予定です。

★宮城県病害虫防除所から『メルマガ』で

発生予察情報の発表をお知らせしています★



宮城県病害虫防除所 メルマガ

トップページ

登録フォーム

## ーハダニ類の越冬状況と4月上旬までの発生予報ー

巡回調査:3月5～6日

天候予報:仙台管区气象台3月7日発表

### 1 発生予報

病害虫名	発生時期	発生量
リンゴハダニ	ー	やや多

#### 予報の根拠

- (1)巡回調査の結果、発生地点率は平年並で( /±)、短果枝における越冬卵数は平年よりやや多かった。( /+)
- (2)向こう1か月の平均気温は高く( /+)、降水量はほぼ平年並と予報されている。( /±)

病害虫名	発生時期	発生量
ナミハダニ	ー	やや多

#### 予報の根拠

- (1)巡回調査の結果、発生地点率は平年より高く( /+)、粗皮内部における越冬成虫数は平年並であった。( /±)
- (2)向こう1か月の平均気温は高く( /+)、降水量はほぼ平年並と予報されている。( /±)

#### ※ 予報の根拠 (発生時期 / 発生量)

発生時期…(+):遅くなる要因 (±):平年並になる要因 (ー):早くなる要因 (空欄):該当せず  
発生量…(+):多くなる要因 (±):平年並になる要因 (ー):少なくなる要因 (空欄):該当せず

### 2 防除のポイント

#### (1)共通事項

- ・前年の発生量が多かったほ場では、越冬量も増加する傾向があるので発生に注意する。

#### (2)リンゴハダニ

- ・短果枝や芽基部、小枝の分岐部など、しわ状になっている木肌部分に卵で越冬する。発生状況に注意し、マシン油乳剤または石灰硫黄合剤を散布する。ただし、各剤の使用時期に注意する。
- ・近年、りんごの生育は早まる傾向にあり、加えて、今後の気温は高く推移する予報であることから、防除時期を逃さないよう十分注意する。

#### (3)ナミハダニ

- ・粗皮の隙間や下草等に成虫で越冬する。粗皮削りを行い、越冬虫を除去する。

#### 《お問い合わせ先》

宮城県病害虫防除所

〒981-0914 仙台市青葉区堤通雨宮町4-17

TEL:022-275-8982 FAX:022-276-0429

E-mail:[byogai@pref.miyagi.lg.jp](mailto:byogai@pref.miyagi.lg.jp)

★宮城県病害虫防除所から『メルマガ』で  
発生予察情報の発表をお知らせしています★



宮城県病害虫防除所  
トップページ



メルマガ  
登録フォーム

## ーハダニ類の越冬状況と4月上旬までの発生予報ー

巡回調査: 3月5～6日

天候予報: 仙台管区气象台3月7日発表

### 1 発生予報

病害虫名	発生時期	発生量
リンゴハダニ	ー	平年並

#### 予報の根拠

- (1) 巡回調査の結果、芽基部での越冬卵は確認されなかった。( /ー)
- (2) 向こう1か月の平均気温は高く( /+)、降水量はほぼ平年並と予報されている。( /±)

病害虫名	発生時期	発生量
ナミハダニ	ー	やや多

#### 予報の根拠

- (1) 巡回調査の結果、発生地点率は平年より高く( /+)、粗皮内部における越冬成虫数は平年よりやや多かった( /+)。
- (2) 向こう1か月の平均気温は高く( /+)、降水量はほぼ平年並と予報されている。( /±)

#### ※ 予報の根拠 (発生時期 / 発生量)

発生時期・・・(+):遅くなる要因 (±):平年並になる要因 (ー):早くなる要因 (空欄):該当せず  
発生量・・・(+):多くなる要因 (±):平年並になる要因 (ー):少なくなる要因 (空欄):該当せず

### 2 防除のポイント

#### (1) 共通事項

- ・前年の発生量が多かったほ場では、越冬量も増加する傾向があるので発生に注意する。

#### (2) リンゴハダニ

- ・短果枝や芽基部、小枝の分岐部など、しわ状になっている木肌部分に卵で越冬する。発生状況に注意し、発芽前までにマシン油乳剤や石灰硫黄合剤を散布する。
- ・近年、なしの生育は早まる傾向にあり、加えて、今後の気温は高く推移する予報であることから、防除時期を逃さないよう注意する。

#### (3) ナミハダニ

- ・粗皮の隙間や下草等に成虫で越冬する。粗皮削りを行い、越冬虫を除去する。

#### 《お問い合わせ先》

宮城県病害虫防除所

〒981-0914 仙台市青葉区堤通雨宮町4-17

TEL:022-275-8982 FAX:022-276-0429

E-mail: [byogai@pref.miyagi.lg.jp](mailto:byogai@pref.miyagi.lg.jp)

★宮城県病害虫防除所から『メルマガ』で  
発生予察情報の発表をお知らせしています★



宮城県病害虫防除所  
トップページ



メルマガ  
登録フォーム

## ー4月上旬までの発生予報と防除のポイントー

巡回調査:3月4～6日

天候予報:仙台管区气象台3月7日発表

### 1 発生予報

病害虫名	発生時期	発生量
うどんこ病	ー	平年並

#### 予報の根拠

- (1)巡回調査の結果、発生地点率、発病株率は平年並であった。( /±)
- (2)向こう1か月の日照時間はほぼ平年並と予報されている。( /±)

病害虫名	発生時期	発生量
ハダニ類	ー	平年並

#### 予報の根拠

- (1)巡回調査の結果、発生地点率は平年並で( /±)、寄生株率はやや低かった。( /ー)
- (2)25～30℃で乾燥が発生に好適であり、向こう1か月の平均気温は高く( /+)、降水量はほぼ平年並と予報されている。( /±)

病害虫名	発生時期	発生量
コナジラミ類	ー	やや少

#### 予報の根拠

- (1)巡回調査の結果、発生地点率、寄生株率は平年より低かった。( /ー)
- (2)23～28℃が発生に好適であり、向こう1か月の平均気温は高いと予報されている。( /+)

病害虫名	発生時期	発生量
アザミウマ類	ー	多

#### 予報の根拠

- (1)巡回調査の結果、発生地点率は平年並で( /±)、寄生花率は平年より高かった。( /+)
- (2)高温乾燥が発生に好適であり、向こう1か月の平均気温は高く( /+)、降水量はほぼ平年並と予報されている。( /±)

#### ※ 予報の根拠 (発生時期 / 発生量)

発生時期…(+):遅くなる要因 (±):平年並になる要因 (ー):早くなる要因 (空欄):該当せず  
発生量…(+):多くなる要因 (±):平年並になる要因 (ー):少なくなる要因 (空欄):該当せず

### 2 防除のポイント

#### (1)共通事項

- ・薬剤散布を行う場合は、訪花昆虫や天敵への影響日数に注意する。

- ・病害虫の薬剤抵抗性の発達を防止するため、RAC コードの異なる薬剤を組み合わせ、計画的なローテーション散布を行う。
- ・いちごの農薬使用回数は、親株からランナーを切り離れた時点から収穫終了までをカウントする。
- ・施設内外の雑草や花き類等は、虫の発生源となるため除去する。
- ・薬剤は『宮城県農作物病害虫・雑草防除指針』を参考に選定する。

<https://www.nouyaku-sys.com/nyoyaku/user/top/miyagi>

## (2)うどんこ病・灰色かび病

- ・ほ場をよく見回り発生初期から防除を徹底する。
- ・軟弱徒長株はうどんこ病が発生しやすく、過繁茂は灰色かび病の発生を助長するとともに、薬剤の散布ムラが生じやすくなるため、適切な栽培管理を行う。
- ・老化した下葉や不要な果実は、うどんこ病や灰色かび病の発生源となるので取り除く。

## (3)ハダニ類

- ・多発すると防除が困難になるため、ほ場をよく見回り発生初期から防除を徹底する。
- ・天敵放飼後にハダニ類が目立った場合は、発生しているスポットへの気門封鎖剤の散布や、天敵に影響の少ない殺ダニ剤の散布を行う。葉裏にもよくかかるよう丁寧に散布する。気門封鎖剤の種類によっては成虫にしか効果がないので1週間間隔で薬剤を散布する。

## (4)コナジラミ類

- ・主に葉裏にいるので、薬剤散布は葉の表だけでなく植物体全体にかかるように散布する。
- ・多発すると排泄物(甘露)によるすす病を発生させるので、ほ場をよく見回り発生初期から防除を徹底する。

## (5)アザミウマ類

- ・アザミウマ類は温度の上昇とともに短時間で急増する傾向があり、4月になると野外からの飛込も始まるので注意する。
- ・本種は花に好んで寄生するが、体長が1～2mm程度と小さいので花を注意して観察するか、開花中の花を白い紙の上で軽く叩いて、寄生の有無を確認する。寄生を確認したら、少発生のうちに直ちに防除を行う。
- ・本種は主に花の奥におり、薬剤がかかりにくく、卵から成虫になるサイクルは10～20日程度と短いため、多発している場合は1週間間隔で薬剤を散布する。

### 《お問い合わせ先》

宮城県病害虫防除所

〒981-0914 仙台市青葉区堤通雨宮町4-17

TEL:022-275-8982 FAX:022-276-0429

E-mail: [byogai@pref.miyagi.lg.jp](mailto:byogai@pref.miyagi.lg.jp)

★宮城県病害虫防除所から『メルマガ』で発生予察情報の発表をお知らせしています★



宮城県病害虫防除所  
トップページ



メルマガ  
登録フォーム